

時任町会報

公式ウェブサイト <http://www.tokita.org>

「時任町会報」は、町会からの大切なお知らせを、会員のみなさまにお伝えするものです。開設中の時任町会ホームページにも掲載されています。併わせてご覧ください。

時任町会事務局 電話 51-8429

一年を終えて

時任町会会長 高橋 松恵

令和3年度は驚異的な猛暑、厳寒、大雪に見舞われ、未だ、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない現状、規制されての生活を余儀なくされて参りました。

町会行事も制限され「子どもフェスティバル、敬老祝賀会、餅つき大会、防災訓練、新年懇親会」などを中止せざるを得ませんでした。一日も早くマスク無しの生活が送れる日が来ることを望み我慢の日々を、今、暫く送らざるを得ないのかなと思っております。

また、回覧板でお願い申し上げます、町会運営に支障をきたしています役員の欠員就任に、皆様のご理解とお力添えをよろしくお願い申し上げます、年度末の挨拶に代えさせていただきます。

令和4年度 時任町会定期総会

1	日時	令和4年4月27日（水曜日）	午後6時30分
2	場所	時任町会館1F	
3	議題	① 令和3年度の事業・決算報告 ② 令和3年度の会計監査報告 ③ 令和4年度の事業・予算案 ④ その他	

これから

- ① 4月6日の回覧板で【定期総会の案内、議案書、及び委任状】をお届けの予定です。
- ② 議案書は、3年度の事業報告で、2年度議案書に揚げた「3年度事業計画案」の達成がどうだったかについて、報告しています。この評価と課題を受けて4年度の事業計画（案）を立てています。このように、視点をもって会の運営や活動をすることによって、次年度の活動が具体化され少しでも前に進めるものと考えます。
- ③ 総会では、町会運営、活動の在り方、会計等について、みな様からご意見を伺ってこれからの取り組みに活かして行きたいと思えます。
- ④ 定期総会は、これまでのように出席をいただいていた総会を計画していますが、新型コロナウイルス感染症の状況によって延期したり、書面による総会になるかも知れません。

・・・委任状のお願い・・・

「総会は、会員の2分の1以上の出席をもって成立する。」（時任町会規約第15条）とあります。さらに総会に出席できない会員は、あらかじめ通知された事項について、書面で表決することが定められています。

都合で出席できない方は、委任状が必要になります。案内状、議案書と一緒にお届けしますので、回覧板が回ってきましたら、ご面倒でもよろしくお願い致します。

1 報告

① 新年懇親会 中止。残念ながら昨年引き続き開催は困難な状況でした。

② 子どもフェスティバル 中止 (1月15日 土曜日 10時)

会報154号でも紹介しましたが、15日に1時間ほど、読み語りやくじ引きで楽しんでもらうはずでした。14日(土)の午前中に会場づくりや読み語りのリハーサルをしたが、夕方のニュースで函館や道南のコロナ感染状況を知り、急速な増加が危惧されたので中止と決め、参加予定の家庭や学童保育所(にっこにこクラブ)に連絡をし、翌日に会場の片付けの後、参加予定の子どもたちにくじ引きで貰えるはずの「お菓子、飲み物、玩具」を届けました。ちなみに、参加予定は、クラブの子ども13名と町内から9名でした。

③ 時和会・在宅委員会合同の見学会 中止

今年度、3回目の見学会が中止になりました。鹿部道の駅、ひろめ荘での昼食(海鮮丼)、縄文文化交流センター見学の手配が予定でした。2日間に分けての計画でした。初めて、参加する方もいて、楽しみにされていたようで残念でした。

班長さん、ご苦労さまでした。

落ち着かない年でした。コロナへの気遣いや冬道も大変だったことでしょう。町会活動は、班長さんの支えが大きな力になります。ありがとうございました。この回覧が最後になります。

キケン！ 電話でのお金の話

それは サギかも

新班長さん

よろしくお願いします

4月からの一年間、ご苦労でしょうが力を貸してください。新班長会議が中止で町会費の集金などで解り難いことがありましたら、現班長さんか町会に聞いてください。また班員の要望などは町会へお願いします。

3月の予定

- ① 町会役員会 4日 23日
- ② 新班長会議 中止
- ③ 新班長へ町会費集金書類の届け(区長) 25日~30日

4月の予定

- ① 会計監査 2日ごろ
- ② 町会役員会 4日
- ③ 資源回収 2日(土)
- ④ 回覧板 6日(水)
- 定期総会案内状 議案書 委任状
- ⑤ 児童遊園地清掃 4日(月)
- ⑥ 街頭キャンペーン 15日
- ⑦ 時任町会定期総会 27日(水)

コロナ禍の今こそ

昭和20年の冬、帰省のため江差駅から函館行きの汽車に乗った。しばらく走った汽車は途中の坂にさしかかった時、汽笛を鳴らして止まり、スズスズとすべって後退した。発車してまた止まる。車内が騒然となった時、一人のおじさんが叫んだ。「すがだがねーな、皆で押すがー」別のおじさんが「んだんだ、もっとさがらねうち早くな」乗客全員が降りて、大人から小さな子どもまでが無我夢中で押した。やがて、汽車は無事坂の上にあがった。皆、手をたたいて喜んだ。・・・1月22日、道紙いずみ欄(投稿者94歳女性)より